

日本農芸化学会2026年度大会

ランチオンセミナー企画募集

ご案内・申込書

日本農芸化学会は、農芸化学の進歩を図り、それを通じて科学、技術、文化の発展に寄与することを目的として、1924年に設立された学術団体です。2024年に創立100周年を迎えました。

会員数（学会ホームページより2025年引用。 2025年2月末現在）

名誉会員	有功会員	シニア	一般	教育	学生会員	ジュニア	団体会員	賛助会員	国外	合計
15	200	185	6,062	85	2,367	12	220	88 (口数 173)	29	9,263

9,000名を超える学術団体で、大会の参加登録は例年約5,000名と、100年の歴史と伝統のある日本農芸化学会で、ぜひランチオンセミナーを介し貴社のテクノロジー、製品、サービスなどを参加者にお伝えください。

公益社団法人 日本農芸化学会

会 長 上原 万里子

日本農芸化学会2026年度大会

実行委員長 谷 史人

（京都大学大学院農学研究科）

● 大会概要

●名称 和文名 日本農芸化学会 2026 年度大会

英文名 The 2026 Annual Meeting of Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry

●開催機関名称 主催 公益社団法人 日本農芸化学会

運営 日本農芸化学会 2026 年度大会実行委員会

●会期 2026年3月9日(月)～12日(木)

●会場 同志社大学 今出川キャンパス、室町キャンパス、新町キャンパス、烏丸キャンパス

●参加者数 約 5,000 名 ※招待者等含む

●大会開催の目的と意義

日本農芸化学会は「生命・食・環境」をテーマとし、バイオサイエンスやバイオテクノロジーの基盤研究から産業化までを視野に入れた世界に類を見ない総合科学を推進しております。

毎年開催しております大会は、最新の研究成果の発表・討論の場に加えて、企業各社と参加者との情報交換の場を提供することで、バイオサイエンスやバイオテクノロジーの関わる研究の振興とともに、若手研究者の育成も目的としております。このような意図のもと、例年、大会には全国の大学・附属研究施設、国公立研究所・試験研究機関、民間企業・研究機関、バイオ関連ベンチャー企業、知財関連法人等から5,000名にのぼる研究者が参加し、発表、討論、情報交換が活発に行われております。

今回の京都大会は、産業界、アカデミアなどからも多くご参加いただけるよう、開催期間を3月中旬にいたしました。いつも以上に多くの参加者が集まり、日本のサイエンスを大いに盛り上げてくれることを期待しております。私ども実行委員会も、全力を挙げて大会の成功のために努力する次第でありますので、貴社のテクノロジー、製品、サービスをお伝えいただく場として、ランチョンセミナーをぜひご活用ください。

● ランチョンセミナー開催概要

(1) 目的 貴社の新素材、製品開発の発表、共同研究の提案

(2) 開催日程 2026 年 3 月 10 日（火）～ 12 日（木）

(3) 開催時間 大会の昼食時間 50 分

1 日 5 社程度の並行開催になります。

昼食は整理券を発行いたします。整理券は大会側で用意、配布します。

(4) 会場 大会講演会場を利用

(5) 講演形式 液晶プロジェクターのみ使用。

日本農芸化学会と貴社との共催といたします。

(6) 共催費 1 セミナー 550,000 円（消費税込）

大会参加証を 5 枚提供いたします。

会場係員 1 名（照明担当）、映像・音響設備を提供します。

大会ホームページ、プログラム検索（大会ホームページより）では、演題名、演者、座長名など紹介をいたします。また、講演要旨集 PDF 版（電子ジャーナル）では、要旨を掲載いたします。（A4 版 1 ページ分）

※昼食時間帯ですので、昼食と飲料代（1,200 円程度/1 食）を別途ご負担願います。発注数は会場によって席数が異なりますので、講演会場決定後に連絡いたします。発注は事務局にて一括発注といたします。

※お申込み後（E-mail による申込受理後）は、原則取り消しはできません。したがって共催費の返金や未入金は認められませんのでご了承の上、お申込みください。

(7) 申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、申込先に E-mail または FAX でお送りください。

申込用紙に希望される発表日をご記入ください。

演題や演者が未定でも、お申込みはできます。

申込枠数に達した場合、締切日前に募集を終了する場合がございます。ご了承ください。

(8) 申込締切日 **2025 年 10 月 31 日（金）**

(9) 申込先 株式会社エー・イー企画 日本農芸化学会 2026 年度大会展示会事務局

Tel. 03-3230-2744 E-mail. e26jsbba@aeplan.co.jp 関根

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4F

注意事項

- ・会場の都合上、1社あたり1部屋の控室をご用意できず、共用控室のご提供となる可能性がございます。あらかじめご了承ください。
- ・大会より参加者に関する情報（氏名、所属、Email アドレス等）を提供することはございません。あらかじめご了承ください。
- ・単なる製品説明ではなく、背景となる原理・理論の解説や役立つ応用例の紹介など、魅力ある新製品・新技術の解説講演になるよう工夫をこらしていただけると幸いです。
- ・製品説明以外にも貴社の様々な活動（補助金や寄付金による社会活動など）の発表でも結構です。講演依頼される場合は貴社にて行っていただきます。
- ・司会進行は貴社で行っていただきます。
- ・本ランチョンセミナーと関連し、より具体的な個別の説明の場として、「附設展示会」および「バイオビジネスアピールエリア」のご活用も併せてご検討ください。
- ・会場入口付近には配布資料等を置くための机を用意します。
- ・参加者へのお弁当配布は原則貴社にてお願いします。なお、必要であれば弁当の配布のみサポートいたしますのでお申し出ください。資料の配布は貴社でお願いします。会場でのお弁当配布と回収は大会側で行います。
- ・お申込み後に、請求書を発行いたします。お振込み期限は2026年2月13日（金）です。
- ・プログラム集（電子版）、プログラム検索（大会ホームページより）に掲載します。
ご用意いただく原稿は下記の通りです。
 - ① テキスト：演題名・演者（複数演題の場合は演題順を記載）、座長・司会名。
 - ② 講演要旨集 PDF 版（電子ジャーナル）に掲載の要旨原稿（A4 版 1 枚カラー可）締切日予定日は 2025 年 12 月 5 日（金）

以上

日本農芸化学会2026年度大会 ランチョンセミナー共催申込書

2025年 月 日

会 社 名 : _____

所 在 地 : (〒)

－住 所－

ご担当者 : _____

_____ 部 _____ 課

TEL. _____

E-mail※ : _____

※必ずE-mailアドレスをご記入ください。

《講演内容》 ※演題、演者が未定の場合は未記入で結構です

演 題 : _____

講演者名 : _____

所 属 : _____

発表希望日 : 第1希望日 3月 日

第2希望日 3月 日

第3希望日 3月 日

講演概要 <講演内容や演者等の情報を記載ください>

申込締切日 : 2025年10月31日

※プログラムおよび講演要旨集の原稿締切日 : 2025年12月5日